

私たちも
防災士に
なれます！

学生は
受講料が
50%OFF
この機会に

防災士とは、家庭や職場、地域での
防災のリーダーとして活躍するために、
防災の基本を学んでいただく資格です。
多くの学生のみならず、社会に貢献
できる仕事に就きたい、ボランティア
の経験を自分の将来に活かしたいなど
様々な理由で、防災士の資格を取得さ
れています。



講義、演習風景

学生の皆様へ 防災士に なる！！



全国に
50,000名以上の防災士

防災士研修講座・学生割引受講料内訳
 防災士研修講座受講料 26,500円（一般の50%割引）
 防災士資格取得試験受験料 3,000円
 防災士資格認証登録料 5,000円
合計 34,500円（税込み）

- ◎ 学生割引が受けられる。
- ◎ 2日の講習で取得できる。
- ◎ 資格は更新がなく
生涯継続。
- ◎ 就職活動に役立つ。

● リクルート社「稼げる資格」
乾喜一郎編集長

「失敗しない資格選びのために」

学生時代のような、比較的時間に余裕がある時期
に取り組むのに適しているのが、自分の興味・関
心・能力を「広げる資格」です。この「広げる資格」
というのは、これまで経験したことがない分野に
新しく挑戦するタイプの資格で、学習によって新
たなスキルや知識を身につけることができるのは
もちろん、取得後の新たな経験やこれまで耳に入
らなかった情報、新しい
人的なネットワークなど
様々な可能性が広がります。資格選びに重要な
のは、客観的なデータより
自分の主観的な判断で
す。まずはアクションを
起こすことから始めてみ
てください。



Bousaishi Training Center

防災士研修センター



**日本に住んでいる限り、
いつかは必要になる知識**

佐藤 大伍 さん
〈法政大学法学部〉

就職にも役立ちそうですし、東北地方太平洋沖地震で家族が被災したことをきっかけに、防災について正しい知識を身につけたいと思い、時間の余裕があり、学割が使える学生のうちに防災士になろうと考えました。

この知識は日本人である僕たちには必須の知識だと思っています。地理的に災害が避けられない日本において、現状の防災教育は不十分だと思っています。建築関係の一部の学科では防災について学べますが、私のように文系に所属していると防災について学ぶ機会はありません。繰り返しになりますが、日本に住んでいる限り、いつかは必要になる知識ですから、大学生の内に取得することをお勧めしたいです。時間があって、やる気があって、学割が効く。学生には簡単にらせる金額ではありませんが、受講しただけの価値は絶対にあります。

VOICE



**防災を自分の武器として
就職活動にも役立てよう
と考えました。**

矢澤 俊介 さん
〈日本大学法学部〉

防災に関するいろいろなフォーラムや勉強会に参加してきました。そこでは防災の知識をつけることはできましたが、実際に活動できる知識ではなかったため、防災を体系的に学ぶために、防災士の研修を受講しました。大学では突出してこれを勉強したというものがなかったので、防災を自分の武器として就職活動にも役立てようと考えました。



**特に勉強になったことは、
年上の人たちと
ディベートをしたことです**

大石 康太郎 さん
〈国士館大学体育学部〉

父が消防士で、現場の活動の話を聞いたので、幼い頃から防災について身近に感じていました。私も大学卒業後、消防士になることを目指しており、防災に関する知識をより深めることができた、という想いで「防災士」を取得することにしました。研修講座で特に勉強になったことは、グループに分かれて行う実技演習で、年上の人たちとディベートをしたことです。初めて会う大人の方々に、自分の考えを伝えるとともに、人の意見を聞き理解する機会は貴重な体験でした。「防災士」の資格を得たことをきっかけに、日頃から身近な防災設備や防災活動などに目を向け、学んだことを活かしていきたいです。また消防士になるという目標に向けて、今後もしっかりと勉強し、地域の安全に貢献していきたいです。



**教員になることを目指して
いる方には、一つの武器に
なると思います。**

武田 一孝 さん
〈東京大学大学院〉

現在大学院で台風の研究を行っているとともに、高校で講師として働いています。防災について詳しい教員がいることは、学校にもメリットがあると考えて防災士の資格を取得しようと思いました。防災士のことを知らない学生の方に伝えたいのですが、この研修を受けることで災害に対するイメージを持つことができるようになります。災害をイメージすることで、自分や家族、まわりの人々の生存確率を高めることにも繋がると思いますので、災害が起きたときには費用以上のものを還元してくれる知識・資格だと感じています。また、教員になることを目指している方には、就職活動をするうえで一つの武器になると思います。



**東日本大震災を体験し、
自分の防災意識の低さを
認識した。**

田村 翔 さん
〈横浜市立大学国際総合科学部〉

東日本大震災を通して改めて防災の大切さを痛感し、防災士になろうと決意しました。将来は防災関係の仕事に就きたいと考えています。就職活動において、面接で人事の担当の方から、履歴書の資格欄に記載した防災士やボランティア活動について聞かれることも多く、アピールにつながっているようです。



**防災についての意識が
大きく変わりました。**

齋藤 友香 さん
〈早稲田大学法学部〉

東北地方太平洋沖地震が起きたとき、東京で一人暮らしをしていたので、心細くとても怖い思いをしました。実家のある徳島では、南海地震も想定されていることもあって、防災のことをしっかりと学びたいと思い防災士の資格にトライしました。研修講座を修了した後は、防災についての意識が大きく変わりました。友達にもすすめています。

〈受講された学生の主な大学名〉

青森中央学院大学、青山学院大学、岩手県立大学、大阪教育大学、大阪大学、岡山大学、香川大学、鹿児島大学、金沢大学、関西大学、関西学院大学、岐阜大学、共立女子大学、近畿大学、慶應義塾大学、工学院大学、高知大学、神戸大学、国士館大学、駒澤大学、島根大学、淑徳大学、信州大学、千葉科学大学、千葉大学、中央大学、筑波大学、帝京大学、東京工業大学、東京国際大学、東京女子大学、東京大学、同志社大学、東北大学、徳島大学、長岡技術科学大学、名古屋大学、新潟大学、日本大学、弘前大学、福岡大学、法政大学、北海道大学、三重大、明治大学、山梨学院大学、横浜国立大学、横浜市立大学、立命館大学、龍谷大学、和歌山大学、早稲田大学 その他多数

〈受講生の主な勤務先〉

伊藤忠商事、オリエンタルランド、資生堂、三菱東京UFJ銀行、三井住友銀行、大日本印刷、博報堂、味の素、三菱商事、東日本旅客鉄道、東京海上日動火災保険、ソニー、ワコール、日本テレビ、フジテレビジョン、キリンビール、トヨタ自動車、野村総合研究所、ベネッセコーポレーション、日本放送協会、アステラス製薬、朝日新聞社、日本政策投資銀行、ソフトバンク、日本銀行、ヤフー、本田技研工業、コクヨ、大林組、パナソニック、日立製作所、日本生命保険、積水ハウス、東芝、三越伊勢丹 その他多数

お申し込み方法

学校法人として認可された高等学校、専門学校、大学、大学院などの教育機関に通学し、その機関より発行された有効期間内の学生証を提示できる場合に受講料を50% 割引いたします。ただし、学生証を提示されても学生割引を適用いたしかねる場合もございます（例：学外特別講座など有効期限が6ヶ月以下など短期の学生証の場合など）。割引の適用は当センターで判断いたします。

防災士研修講座受講料 53,000 円（一般）が 26,500 円になります。在学期間内に、受付中のコースに受講を申込みれる場合を適用対象とします。

◆受講申込の際の留意事項

FAX でお申込の場合：学生証をあらかじめコピーし、受講申込書と一緒に送信ください。

インターネットでお申込の場合：受講申し込みフォームの「通信欄」に学割適用となる旨お書き添えのうえ、申込の送信を一旦済ませた後に、

・学生証のコピーを、FAX(03-3639-5053) にて送信

・学生証を写真に撮ったものを添付のうえ、メールで送信のいずれかの形で当方宛にお届けください。



Bousaishi Training Center

防災士研修センター

日本防災士機構認証研修機関

〈お問い合わせ・資料請求〉

〒103-0012 東京都中央区日本橋堀留町2-1-8神野ビル6階

電話 (03) 3639-5051 FAX (03) 3639-5053

<http://www.bousaishi.net/>